

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

多可町長

市町村名 (市町村コード)	兵庫県多可郡多可町 (283657)	
地域名 (地域内農業集落名)	八千代区 (中野間集落)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月19日 (第3回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は平坦でほ場整備された農地が広がっている。地域内の耕作者は認定農業者(法人1社、個人1名)のほか、水稻を中心に営農する個人農家も複数いる。農地の約9割以上で作物が栽培されており、耕作放棄地の発生の増加には至っていない。アンケートから70才以上の耕作者が7割を占め、そのうち半数の農家の後継者が不明で、離農や規模縮小を考えている農家も多い。

そのほか獣害被害への対策や、ため池の取水設備の老朽化など、地域の農業を維持していくためにも計画的に対応していかなければならない課題も多い。

【基礎データ】

- ・農家軒数 17軒 うち認定農業者(法人1社、個人1名)
- ・主な作物 水稻(うるち米、酒造好適米)、稲WCS、黒大豆、一般野菜

(2) 地域における農業の将来の在り方

作物については地域の特産である酒造好適米やうるち米、黒大豆を中心に作付し農家所得の安定を図る。また個々の小規模農家も野菜等の作付けを推奨することで農地の活用を図り、収穫された農産物を販売できる直売所の設置に向けて検討し、地産地消や農業意欲の向上に努める。

そのほか広域的な農業者も多いため、農地の所有者にも畦畔の草刈りなど可能な範囲で協力してもらう体制や組織づくりに向けて協議を継続し、地域が一体となって農地を守る仕組みを構築していく。あわせて効率的な農業を進めていくためには、農地の集積・集約化に向けて地権者と耕作者の理解を求めていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	32.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	32.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	0.0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農地中間管理機構を活用して、認定農業者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集約を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・新規貸借は農地中間管理機構を活用し、担い手の経営意向を斟酌しながら段階的に集約を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
・多面的機能支払交付金の活用により修繕・整備を引き続き行っていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・町・JAなどと連携し地域内外からの多様な経営体を募集するとともに、集落内の若年層にも積極的に働きかけ後継者育成を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①⑦多面的機能支払交付金を活用して獣害防止柵や農業用施設の保全管理を継続する。
 ③農作業の効率化のためラジコン草刈り機等のスマート農業機械の導入を進める。